



<美和中校区小中一貫学校教育目標> 地域の未来を切り拓く児童生徒の育成

- <めざす児童像>
- 夢や未来を語るができる児童生徒
  - 仲間と共に課題解決に取り組む児童生徒
  - 学び続け、創り出すことに喜びを見出すことができる児童生徒

<チャレンジ目標>

美和東小学校 **チャレンジ目標**

## 美和東小ABC

**A** あたりまえのことを  
tarimae



マロリン

**B** びっくりするくらい  
ikkuri

**C** ちゃんとやる  
hanto

あいさつは 先手必勝 笑顔で勝負！

校長 東原 孝

季節は早くも梅雨になろうとしています。先日の修学旅行も「梅雨の走り」で、あいにくの雨模様でしたが、6年生たちは元気いっぱい有意義に研修を終えて帰ってきました。私は、見送りとお迎えしか子どもたちの様子を見ることはありませんでしたが、1日目の朝一番の子どもたちの元気な「おはようございます！」の声を聞いた瞬間、この修学旅行の成功を確信しました。朝の交通指導の時や、教室を巡回しているときも、返してくれる子どもたちのあいさつはいつも元気いっぱいです。各学年の授業の始まりや終わりのあいさつも、校長室にバンバン響いてくるようになりました。本紙先月号では「やまびこあいさつ」について書きましたが、子どもたちはしっかり意識できているようです。今後レベルアップするなら、「先手必勝」。あいさつは人を待たないこと、自分から進んでさわやかに笑顔で元気よく、「やまびこ」の発信源になることです。まさに「あいさつは、先手必勝 笑顔で勝負！」です。美和東小のあいさつがさらに進化できるよう、ご家庭でもご協力をお願いいたします。

先手必勝のあいさつをするためには、「気付き力」が必要になってきます。また、あいさつを返すためには「感謝」や「思いやり」も必要になってきます。先日こんな出来事がありました。ある朝、2年生教室に弱ったハチがいました。たまたま教室をのぞかれた学校司書の先生がそのハチを捕ろうとしたところ、指を刺されてしまったのです。その後適切な処置で事なきを得たのですが、その場にいた2年生たちは、その先生をととても心配し、刺したハチの種類を自分たちで調べ、ハチの種類を特定したのです。そして、休み時間にみんなでその先生のところに行き、感謝とお見舞いの気持ちを伝えたのです。とても心温まる出来事でした。感謝や思いやりの気持ちを行動に表すことはとても難しいことですが、2年生たちは誰に言われたわけでもなく、自分たちで気付き、考え、判断し、あたりまえのように美しい行動ができたのです。元気なあいさつや美しい行動を目の当たりにするたびに、子どもたちの心が確実に成長していることを日々実感しています。



# 学校の様子

## 修学旅行 (5月12日・13日)

今年も美和西小と合同で、6年生が修学旅行に行ってきました。天候が心配されましたが、全員そろって秋吉台・下関を満喫することができました。写真の場所、どこだか分かりますか？



正解は①秋吉台サファリランド  
②秋吉台展望台前③秋芳洞黄金柱  
④宿泊先の「海峡の風」⑤唐戸市場  
⑥海響館⑦壇ノ浦砲台跡、でした。

## サツマイモ・野菜の苗植え (5月18日)

1・2年生は、地域の方に教わりながら、サツマイモやかぼちゃ、ミニトマトなどの苗を植えました。収穫を楽しみに、がんばって育てていきます。



## 新体カテスト (5月23日) 縦割り班ではげまし合い、みんなで頑張りました!

